



▲安全な街づくり宣言大会



▲地域パトロールの実践

## 手稲中央連合町内会



▲手稲中央連合町内会の皆さん。前列中央が松永 駿 一会長



▲表彰式にて

手稲町が札幌市と合併した後に急速な発展を遂げた手稲駅付近。にぎわう一方で、事件や暴力団絡みのトラブルが目立つようになりました。そこで、手稲中央連合町内会では昭和53年に「安全な街づくり宣言大会」を開催し、各種団体と協力して暴力追放・防犯・交通安全・防火防災に努めてきました。その大会も平成19年に30回を迎え、継続して活動を行い、住民の防犯・防災意識の向上にも寄与している点が評価され、平成20年10月に「北海道犯罪のない安全で安心な地域づくり賞」を道内3団体とともに受賞しました。

活動内容は「安全な街づくり」に対する意識を高めるための街頭啓発や標語の募集、また、地域パトロールや安全教室の実施など、子どもから大人まで連合町内会全体で積極的に取り組んでいます。その活動が実を結び、地域内での犯罪も減少傾向となっています。

松永会長は「私どもの長年にわたる地道な活動を評価いただき、大変うれしく思います。今後も『自らの街は自らが守る』という意識を持ち、『地域の誰しものが安全・安心に暮らせる住みよい街づくり』へ取り組んでいきたい」と力強く語ってくれました。

新年あけましておめでとうございます。

本年11月には、手稲区も区制20周年を迎えます。

これからも、手稲区がますます発展するよう、皆さまとともに取り組んでまいりますので、ご理解とご協力をお願い申し上げます。

皆さまのご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



手稲区長 小山 高史